

# 令和4年度第6回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

## 配 付 資 料

- 令和4年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿 . . . . . P 1
- 【資料1】 令和4年度第5回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要 . . . P 2
- 【資料2】 伊勢志摩地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況 . . . . . P 5
  - ①令和5年度、②令和4年度（現高1）
- 【資料3】 地域の中学生・保護者を対象としたアンケート結果について . . . . . P 7
  
- 【別冊資料】 令和4年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会のまとめ（案）

## 令和4年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No	所属及び名前	本年度 出席委員
1	学識経験者 三重大学 大学院生物資源学研究科 教授 坂本 竜彦	○
2	地域有識者 亀谷内科胃腸科 院長 亀谷 章	○
3	鳥羽商工会議所 専務理事 清水 清嗣	○
4	志摩市商工会 事務局長 竹内 厚史	○
5	度会町商工会 事務局長 富内 伊佐雄	○
6	市町教育委員会 教育長 岡 俊晴	○
7	鳥羽市教育委員会 教育長 小竹 篤	○
8	志摩市教育委員会 教育長 舟戸 宏一	○
9	度会町教育委員会 教育長 中村 武弘	○
10	南伊勢町教育委員会 教育長 劔山 成実	○
11	県立高等学校長代表 県立南伊勢高等学校 校長 角屋 貴久	○
12	小中学校長代表 伊勢市立港中学校 校長 清水 能人	○
13	鳥羽市立加茂中学校 校長 西井 潔	—
14	志摩市立東海中学校 校長 寺本 一夫	○
15	大紀町立大宮中学校 校長 辻井 良孝	—
16	小中学校PTA代表 伊勢市PTA連合会 代表 浦田 宗昭 (伊勢市立厚生中PTA)	○
17	鳥羽市PTA連合会 代表 水川 敬善 (鳥羽市立加茂中PTA)	○
18	志摩市PTA連合会 代表 大西 正和 (志摩市立東海中PTA)	○
19	度会郡PTA連絡協議会 代表 東谷 雅人 (玉城町立外城田小PTA)	○
20	高等学校PTA代表 南勢地区高等学校PTA連合会 代表 藤原 達郎 (県立水産高校PTA)	○
21	小中学校教職員代表 伊勢市立明倫小学校 教諭 坂口 直矢 (伊勢市 教員代表)	○
22	志摩市立東海小学校 教諭 里中 洋典 (鳥羽・志摩地域 教員代表)	○
23	南伊勢町立南勢中学校 教諭 加藤 隆彦 (度会・南伊勢地域 教員代表)	—
24	高等学校教職員代表 県立伊勢工業高等学校 教諭 三橋 哲夫 (県立高等学校 教員代表)	○

## 令和 4 年度第 5 回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 令和 4 年 1 2 月 2 0 日（火）19 時 00 分から 21 時 00 分まで

2 場所 伊勢庁舎 4 0 1 会議室

### 3 概要

伊勢志摩地域の中学生・保護者へのアンケート結果を共有して意見交換するとともに、15 年先をみすえた県立高校の学びと配置のあり方に関する考え方やアンケート結果など、これまで協議してきた内容をふまえ、令和 6 年度に想定される県立高校の学級減への対応について、協議しました。

#### <主な意見>

##### (アンケート結果について)

- 1 学年 1 ～ 2 学級規模への高校への進学を望む中学生が 4 分の 1 程度いることから、きめ細かな教育を行う小規模な高校の存在価値もあるのではないかと。
- 生徒数が多いと切磋琢磨できる機会が増えるが、少ないときめ細かな教育を提供しやすくなる。少人数の小中学校が多い南伊勢町と大紀町では 1 ～ 2 学級規模の高校を選択する割合が高いが、これは小規模な学校におけるきめ細かな教育を子どもたちが肯定的にとらえているからではないかと。
- 中学生や保護者の多くが望んでいる社会性や協調性などの育成については、少人数の中でもある程度可能ではあるものの、多くの人々との出会いがある中で学ぶことも重要である。
- 少人数の学校に在籍している中学生は大きい規模の高校に不安を感じるから、安心感のある小規模な高校を選択しているのではないかと。今後の少子化が進行していく中では、小規模な高校の良さだけで高校を存続させることはできず、7 割以上の中学生が 3 学級以上の高校を望んでいることや、6 割以上の保護者が高校統合の方向性を選択していることから考えても、地域の高校を統合していくことは避けられないのではないかと。
- 各市町別の通学時間の回答状況からは、伊勢市内の高校への通学を想定して回答している様子が見える。
- 保護者の負担軽減は必要であるものの、1 時間の通学時間は、高校生にとって十分に許容できる範囲ではないかと。
- 学力的、経済的にさまざまな背景を持つ生徒・保護者もいるため、アンケートでの割合が低い回答も考慮する必要がある。

- アンケート結果からわかる子どもたちの多様な学習ニーズを大切にしていきたい。この地域の県立高校には多様な学びの選択肢をできるかぎり確保していくことが必要だと再認識した。
- アンケート結果については、「高校にどのような教育を期待するか」と「何学級規模が望ましいか」のクロス集計など他の視点からの分析もあるとよい。
- 中学生へのアンケートからは小規模な学校を望む意識もあることがわかる。今後、生徒の減少がさらに進む中では、高校でも2～3学級規模が標準的な規模になるのではないか。このアンケート結果に加え、高校への入学者の状況等を客観的な数値で分析し、これからの高校のあり方を検討していく必要がある。

**(令和6年度に想定される当地域の県立高校の学級減への対応の方向性について)**

- 高校の統合については、今後の生徒減をみすえて計画的に進めていく必要がある。
- これまでの協議会での議論から考えると、令和6年度、8年度、10年度に見込まれる生徒減に関しては、いずれかの時期には一定の統合が必要という共通の認識ができています。
- 令和6年度については、どこの高校を統合するのかという議論は難しいため、できる限り統合ではなく学級減での対応を基本とすることが望ましい。
- 鳥羽・志摩・度会地域の2学級の高校を1学級にして学びを維持できるのか、1学級にできなければ伊勢市内の高校の学級を減らすことができるのか、といった個別具体的な議論をする必要がある。

**(今後の地域の高校のあり方を検討するにあたって大切なことについて)**

- 鳥羽・志摩・度会地域の1学級になった高校をどうしていくのか、当地域には私立高校が2校あることもみすえて伊勢市内の普通科高校をどう再編していくのか、伊勢市内の専門学科の学びをどう確保していくのかという3点について、今後並行して検討しなければならない。
- 今後の議論にあたっては、私立高校や国立高専の状況を考えると、15年先には18～21学級ではなく、さらに少ない学級数も想定しながら議論を進める必要があるのではないかと。
- 社会の変革が進む中で子どもたちの学習ニーズに対応するため、1学級あたりの人数を変えたり、規模の違う学校間をオンラインでつないで探究的な授業をしたりするなど、新しい学びができるよう様々な工夫が必要ではないかと。
- これからの高校では、社会への適応を苦手とする生徒などにきめ細かな教育をすることが求められる。

- 生徒の減少が続く中、地域の私立高校や国立高専は様々な改革をして魅力化に取り組んでいる。県立高校は多様な学びや専門性に特化した学びによる活性化を検討していくとともに、地域の中学生や保護者に対し、より一層効果的にその魅力を伝えていく必要がある。
- 東北地方での災害ボランティア活動に参加した経験から考えると、高校の統合を検討していく際には、地震や津波の発生時における校舎の安全性についても考慮する必要がある。
- 通信制課程の学びを選択する高校生が増えていることから考えると、これからの高校には通信制を活用した個別最適な学びの提供という視点も重要である。

#### 4 今後の予定

15年先を見据えた地域の高校の学びと配置のあり方や、その途上となる令和6年度の4学級減への対応等について、2月に予定されている今年度最終の協議会で更に議論を深め、協議会の意見をまとめていく予定です。

伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況【令和5年度】

資料2①

学校名	学科・コース	入学定員	12月16日時点の進学希望者数		前期選抜等			後期選抜		追検査再募集
			希望者数	定員との差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	日程	日程
明野	生産科学	40	52	12	20	53	22	18	後期選抜 願書受付 2月21日 ～27日  志願変更 3月2日 ～6日  後期選抜 実施日 3月9日  合格者 発表 3月17日	追検査・ 再募集の 検査 3月23日  追検査・ 再募集の 合格者 発表 3月27日
	食品科学	40	50	10	20	50	22	18		
	生活教養	40	44	4	20	43	22	18		
	福祉	40	40	0	20	41	22	18		
	計	160	186	26	80	187	88	72		
宇治山田	普通	200	206	6	60	199	66	134		
伊勢	普通	240	240	0	-	-	-	240		
	国際科学コース	40	51	11	-	-	-	40		
	計	280	291	11	0	0	0	280		
宇治山田商業	商業	120	116	▲4	60	112	66	54		
	情報処理	40	38	▲2	20	38	22	18		
	国際	40	53	13	20	51	22	18		
	計	200	207	7	100	201	110	90		
伊勢工業	機械	80	86	6	40	85	44	36		
	電気	40	38	▲2	20	38	22	18		
	建築	40	48	8	20	46	22	18		
	計	160	172	12	80	169	88	72		
南伊勢	度会校舎 普通	80	27	▲51	40	26	28	52		
	南勢校舎 普通		2						2	
鳥羽	総合学科	80	37	▲43	40	42	42	38		
志摩	普通	80	40	▲40	40	36	33	47		
水産	海洋・機関	40	20	▲20	20	24	22	18		
	水産資源	40	28	▲12	20	25	22	18		
	計	80	48	▲32	40	49	44	36		

※「12月16日時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された調査結果(R5. 1. 13)による。

学校名	学科・コース	入学定員	12月の進学希望者数			前期選抜等			後期選抜			追検査・再募集			入学者数	欠員
			定員との差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	志願者数	合格者数	募集定員	希望者数 志願者数	合格者数				
明野	生産科学	40	35	▲5	20	36	22	18	17	18	-	-	-	40	0	
	食品科学	40	42	2	20	38	22	18	20	17	1	2	1	40	0	
	生活教養	40	40	0	20	39	22	18	17	17	1	1	1	40	0	
	福祉	40	38	▲2	20	39	22	18	16	16	2	1	2	40	0	
	計	160	155	▲5	80	152	88	72	70	68	4	4	4	160	0	
宇治山田	普通	200	255	55	60	232	66	134	163	134	-	-	-	200	0	
伊勢	普通	240	213	▲27	-	-	-	240	215	240	-	-	-	240	0	
	国際科学コース	40	74	34	-	-	-	40	89	40	-	-	-	40	0	
	計	280	287	7	0	0	0	280	304	280	0	0	0	280	0	
宇治山田商業	商業	80	100	20	40	91	44	36	46	36	-	-	-	80	0	
	情報処理	40	42	2	20	44	22	18	27	18	0	1	0	40	0	
	国際	40	67	27	20	64	22	18	28	18	-	-	-	40	0	
	計	160	209	49	80	199	88	72	101	72	0	1	0	160	0	
伊勢工業	機械	80	75	▲5	40	77	44	36	37	36	-	-	-	80	0	
	電気	40	35	▲5	20	36	22	18	21	18	-	1	1	41	0	
	建築	40	35	▲5	20	34	22	18	16	16	2	1	1	39	1	
	計	160	145	▲15	80	147	88	72	74	70	2	2	2	160	0	
南伊勢	度会校舎 普通	80	34	▲44	40	36	31	49	5	3	46	2	2	34	44	
	南勢校舎 普通		2		0	2										
鳥羽	総合学科	80	31	▲49	40	32	32	48	9	9	39	4	4	45	35	
志摩	普通	80	43	▲37	40	42	40	40	6	6	34	7	7	53	27	
水産	海洋・機関	40	28	▲12	20	28	21	19	6	5	14	0	0	26	14	
	水産資源	40	29	▲11	20	31	22	18	10	9	9	0	0	31	9	
	計	80	57	▲23	40	59	43	37	16	14	23	0	0	57	23	

## 地域の中学生・保護者を対象としたアンケート結果について

地域の中学生・保護者を対象として11月に実施したアンケートの結果について、中学生・保護者が重視する学習、教育等と中学生が望む学級規模、高校の統合に関する考え方の観点から集計しました。

### (ア) 中学生が望む高校の学級規模とその理由 (中学生 1,538人)

- ・規模 ① **3～4学級** 754人 (49.0%)      ② 1～2学級 397人 (25.8%)  
           ③ 5～6学級 325人 (21.1%)      ④ 7学級以上 62人 (4.0%)
- ・理由 ① **多くの出会い** 776人 (50.5%)      ② 関係の深まり 381人 (24.8%)  
           ③ 多様な選択 216人 (14.0%)      ④ 一人ひとりへのサポート 124人 (8.1%)  
           ⑤ その他 41人 (2.7%)

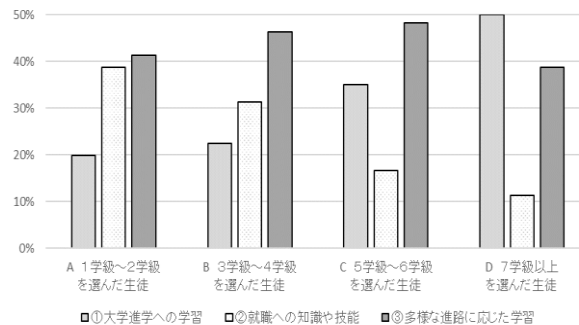
### (イ) 保護者が考える15年先の伊勢志摩地域における高校のあり方の方向性 (保護者 1,391人)

- ① **一定の統合は避けられない** 726人 (52.2%)
- ② 統合は避けるべき 408人 (29.3%)
- ③ 必要な統合を進めるべき 170人 (12.2%)      ※無回答 87人 (6.3%)

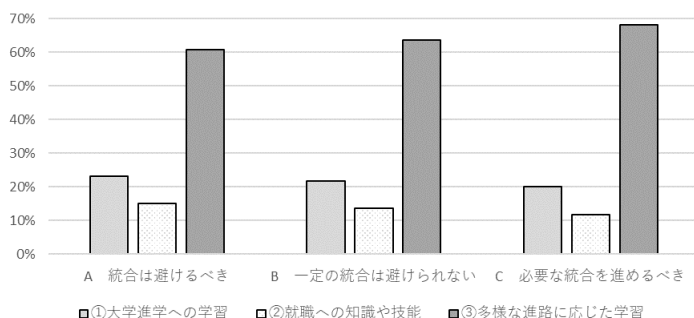
### 1 高校を選ぶとき学習面で重視すること (回答は1つ、( )は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる	393 (25.6%)	298 (21.4%)
②就職につながる専門的な知識や技能、資格が取得できる	451 (29.3%)	200 (14.4%)
③進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる	694 (45.1%)	876 (63.0%)

【中学生】	①大学進学への学習	②就職への知識や技能	③多様な進路に応じた学習	選んだ生徒数
A 1学級～2学級を選んだ生徒	79 19.9%	154 38.8%	164 41.3%	397 25.8%
B 3学級～4学級を選んだ生徒	169 22.4%	236 31.3%	349 46.3%	754 49.0%
C 5学級～6学級を選んだ生徒	114 35.1%	54 16.6%	157 48.3%	325 21.1%
D 7学級以上を選んだ生徒	31 50.0%	7 11.3%	24 38.7%	62 4.0%
合計	393 25.6%	451 29.3%	694 45.1%	1538人



【保護者】	①大学進学への学習	②就職への知識や技能	③多様な進路に応じた学習	無回答	選んだ保護者数
A 統合は避けるべき	95 23.3%	62 15.2%	248 60.8%	3 0.7%	408 29.3%
B 一定の統合は避けられない	158 21.8%	99 13.6%	462 63.6%	7 1.0%	726 52.2%
C 必要な統合を進めるべき	34 20.0%	20 11.8%	116 68.2%	0 0.0%	170 12.2%
無回答	11 12.6%	19 21.8%	50 57.5%	7 8.0%	87 6.3%
合計	298 21.4%	200 14.4%	876 63.0%	17 1.2%	1391人

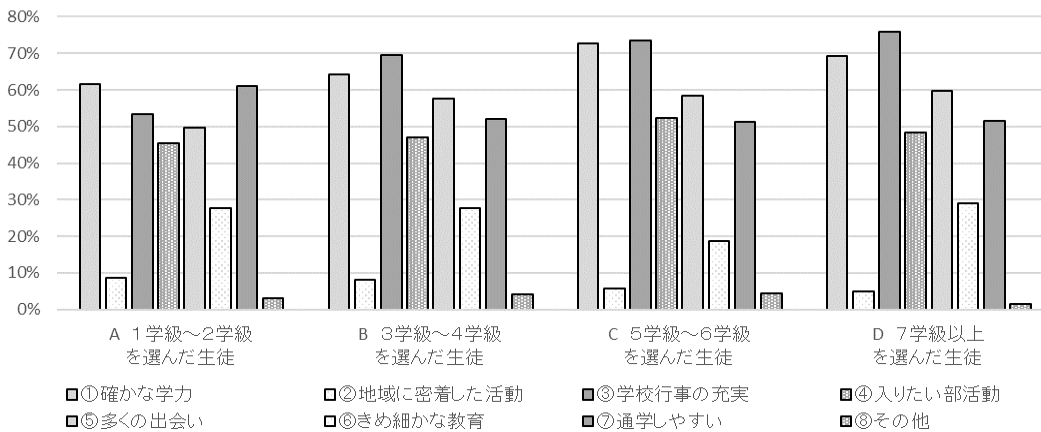




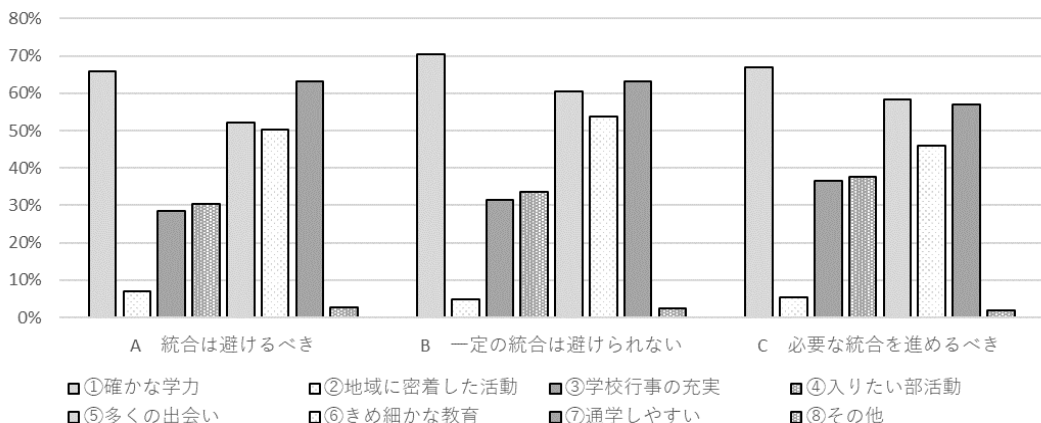
## 2 高校を選ぶとき学校生活全般で重視すること (回答は4つ以内、( )は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①確かな学力を身につける授業が充実している	1007 (65.5%)	943 (67.8%)
②地域に密着した活動がある	117 (7.6%)	75 (5.4%)
③文化祭や体育祭などの学校行事が充実している	1023 (66.5%)	429 (30.8%)
④入りたい部活動がある	735 (47.8%)	460 (33.1%)
⑤多くの友だちや先生と出会うことが期待できる	859 (55.9%)	795 (57.2%)
⑥一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる	398 (25.9%)	711 (51.1%)
⑦通学しやすい	833 (54.2%)	861 (61.9%)
⑧その他	59 (3.8%)	32 (2.3%)

【中学生】	①確かな学力	②地域に密着した活動	③学校行事の充実	④入りたい部活動	⑤多くの出会い	⑥きめ細かな教育	⑦通学しやすい	⑧その他	選んだ生徒数	
A 1学級～2学級を選んだ生徒	244 61.5%	34 8.6%	212 53.4%	180 45.3%	197 49.6%	110 27.7%	242 61.0%	12 3.0%	397	25.8%
B 3学級～4学級を選んだ生徒	484 64.2%	61 8.1%	525 69.6%	355 47.1%	435 57.7%	209 27.7%	392 52.0%	32 4.2%	754	49.0%
C 5学級～6学級を選んだ生徒	236 72.6%	19 5.8%	239 73.5%	170 52.3%	190 58.5%	61 18.8%	167 51.4%	14 4.3%	325	21.1%
D 7学級以上を選んだ生徒	43 69.4%	3 4.8%	47 75.8%	30 48.4%	37 59.7%	18 29.0%	32 51.6%	1 1.6%	62	4.0%
合計	1007 65.5%	117 7.6%	1023 66.5%	735 47.8%	859 55.9%	398 25.9%	833 54.2%	59 3.8%	1538人	



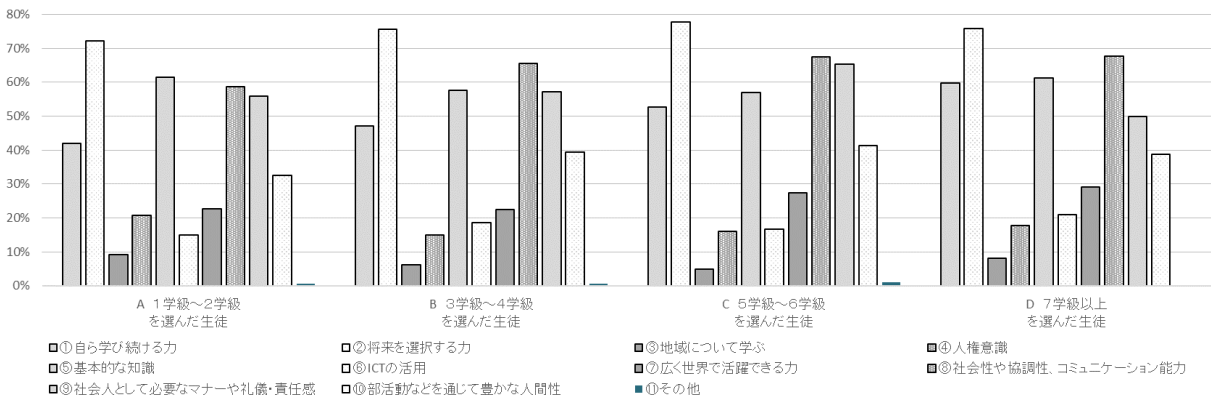
【保護者】	①確かな学力	②地域に密着した活動	③学校行事の充実	④入りたい部活動	⑤多くの出会い	⑥きめ細かな教育	⑦通学しやすい	⑧その他	選んだ保護者数	
A 統合は避けるべき	269 65.9%	28 6.9%	116 28.4%	124 30.4%	213 52.2%	205 50.2%	258 63.2%	11 2.7%	408	29.3%
B 一定の統合は避けられない	511 70.4%	36 5.0%	229 31.5%	243 33.5%	439 60.5%	390 53.7%	458 63.1%	17 2.3%	726	52.2%
C 必要な統合を進めるべき	114 67.1%	9 5.3%	62 36.5%	64 37.6%	99 58.2%	78 45.9%	97 57.1%	3 1.8%	170	12.2%
無回答	49 56.3%	2 2.3%	22 25.3%	29 33.3%	44 50.6%	38 43.7%	48 55.2%	1 1.1%	87	6.3%
合計	943 67.8%	75 5.4%	429 30.8%	460 33.1%	795 57.2%	711 51.1%	861 61.9%	32 2.3%	1391人	



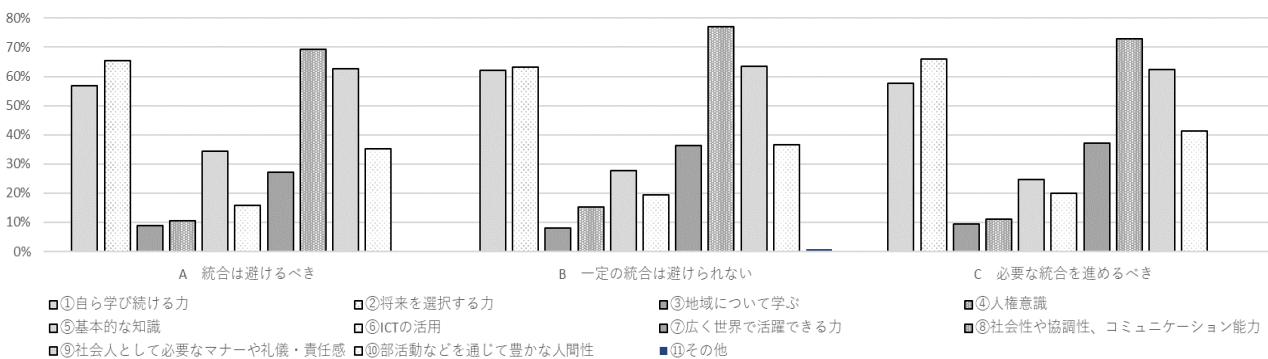
### 3 入学する高校に期待する教育 (回答は5つ以内、( ) は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①自ら学び続ける力が身につく教育	731 (47.5%)	820 (59.0%)
②自分の将来を選択する力が身につく教育	1158 (75.3%)	885 (63.6%)
③地域について学ぶ教育	103 ( 6.7%)	116 ( 8.3%)
④人権に対する意識が高まる教育	257 (16.7%)	185 (13.3%)
⑤基本的な知識が身につく教育	901 (58.6%)	408 (29.3%)
⑥ICTを積極的に活用する教育	267 (17.4%)	252 (18.1%)
⑦広く世界で活躍できる力が身につく教育	366 (23.8%)	462 (33.2%)
⑧社会性や協調性、コミュニケーション能力が身につく教育	989 (64.3%)	1022 (73.5%)
⑨社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育	897 (58.3%)	880 (63.3%)
⑩特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育	584 (38.0%)	511 (36.7%)
⑪その他	10 ( 0.7%)	9 ( 0.6%)

【中学生】	項目											選んだ生徒数	
	①自ら学び続ける力	②将来を選択する力	③地域について学ぶ	④人権意識	⑤基本的な知識	⑥ICTの活用	⑦広く世界で活躍できる力	⑧社会性や協調性、コミュニケーション能力	⑨社会人として必要なマナーや礼儀・責任感	⑩部活動などを通じて豊かな人間性	⑪その他	人数	割合
A 1学級～2学級を選んだ生徒	167	287	36	82	244	59	90	233	222	129	2	397	25.8%
B 3学級～4学級を選んだ生徒	356	571	46	112	434	141	169	495	432	297	5	754	49.0%
C 5学級～6学級を選んだ生徒	171	253	16	52	185	54	89	219	212	134	3	325	21.1%
D 7学級以上を選んだ生徒	37	47	5	11	38	13	18	42	31	24	0	62	4.0%
合計	731	1158	103	257	901	267	366	989	897	584	10	1538人	



【保護者】	項目											選んだ保護者数	
	①自ら学び続ける力	②将来を選択する力	③地域について学ぶ	④人権意識	⑤基本的な知識	⑥ICTの活用	⑦広く世界で活躍できる力	⑧社会性や協調性、コミュニケーション能力	⑨社会人として必要なマナーや礼儀・責任感	⑩部活動などを通じて豊かな人間性	⑪その他	人数	割合
A 統合は避けるべき	232	267	36	43	140	64	111	283	256	144	1	408	29.3%
B 一定の統合は避けられない	450	459	59	111	202	140	264	560	460	266	6	726	52.2%
C 必要な統合を進めるべき	98	112	16	19	42	34	63	124	106	70	0	170	12.2%
無回答	40	47	5	12	24	14	24	55	58	31	2	87	6.3%
合計	820	885	116	185	408	252	462	1022	880	511	9	1391人	

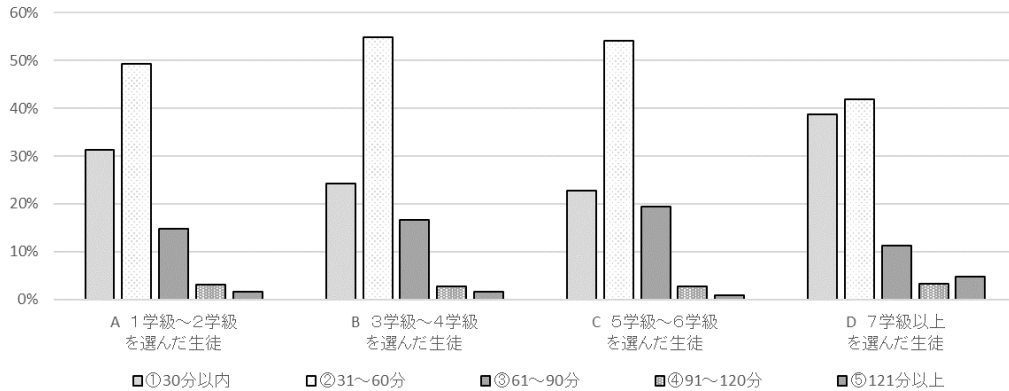


#### 4 進学したい高校までの通学時間はどれくらいまでなら可能か。

(回答は1つ、( )は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①30分以内	405 (26.3%)	266 (19.1%)
②31～60分	811 (52.7%)	875 (62.9%)
③61～90分	255 (16.6%)	189 (13.6%)
④91～120分	43 (2.8%)	27 (1.9%)
⑤121分以上	24 (1.6%)	6 (0.4%)

【中学生】	①30分以内	②31～60分	③61～90分	④91～120分	⑤121分以上	選んだ生徒数	
A 1学級～2学級を選んだ生徒	124 31.2%	196 49.4%	59 14.9%	12 3.0%	6 1.5%	397	25.8%
B 3学級～4学級を選んだ生徒	183 24.3%	413 54.8%	126 16.7%	20 2.7%	12 1.6%	754	49.0%
C 5学級～6学級を選んだ生徒	74 22.8%	176 54.2%	63 19.4%	9 2.8%	3 0.9%	325	21.1%
D 7学級以上を選んだ生徒	24 38.7%	26 41.9%	7 11.3%	2 3.2%	3 4.8%	62	4.0%
合計	405 26.3%	811 52.7%	255 16.6%	43 2.8%	24 1.6%	1538人	



【保護者】	①30分以内	②31～60分	③61～90分	④91～120分	⑤121分以上	無回答	選んだ保護者数
A 統合は避けるべき	104 25.5%	242 59.3%	54 13.2%	4 1.0%	2 0.5%	2 0.5%	408 29.3%
B 一定の統合は避けられない	126 17.4%	477 65.7%	98 13.5%	18 2.5%	4 0.6%	3 0.4%	726 52.2%
C 必要な統合を進めるべき	23 13.5%	110 64.7%	34 20.0%	3 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	170 12.2%
無回答	13 14.9%	46 52.9%	3 3.4%	2 2.3%	0 0.0%	23 26.4%	87 6.3%
合計	266 19.1%	875 62.9%	189 13.6%	27 1.9%	6 0.4%	28 2.0%	1391人

